

# 平成 26 年度 事業報告

## 1 事業の成果

平成 26 年度は、世田谷区駒沢地区を主な活動場所として、環境学習・教育事業、環境保全に関する普及啓発事業、情報収集及び情報提供事業を行った。また、前年に引き続き大阪市住之江区における活動も行い、活動場所の拡大を図った。

定例講演会は第 134 回（年度中 9 回）を迎えた。

### 【環境学習・教育事業】

「子ども環境カレッジ」と題し、小中学生を対象として、昨年と同様に GE カレッジホールを利用した「夏休み☆環境＋生きもの体験」を実施したのに加え、大阪市住之江区の南港野鳥園において「身近な生きもの探検隊 in 南港野鳥園」を開催し、身近な環境について体験し考える環境教育を行った。

また、一般市民を対象とした定例講演会を、世田谷区駒沢地区において 5 回、大阪市住之江区で 2 回、仙台市で 1 回、焼津市で 1 回開催した。なお、これらの講演会はテレビ会議システムを利用し、全国 10 か所でも聴講できる形式で開催している。

この他に会員の子弟が通学する横浜市都筑区の小学校の父兄の会からの依頼で、4 月に身近な自然の観察会の支援を行った。

### 【環境保全に関する普及啓発事業】

環境保全に関する普及啓発事業としては、平成 25(2013)年度の活動をまとめた「GEC 活動報告書 2014」を作成し、会員及び観察会や講演会の参加者に配布したほか、ホームページによる情報の発信を行った。

また、いであ(株)と連携し、防災・減災学習用教材「ぼうさいキング」の普及活動を行い、販売を担当した。

### 【情報収集及び情報提供事業】

沖縄本島海域に生息するジュゴンの長期的な保護対策を検討するため、ジュゴン研究会を再開した。2 回の委員会を開催し、学識者からの意見聴取や対策の方向性の検討を行った。

### 【環境マネジメントシステム構築・維持支援事業】

環境省における化学物質のリスクアセスメントに関する管理業務に、専門分野の会員を派遣した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲 および人数	支出額 (千円)
環境学習・ 教育事業	「子ども環境カレッジ」 環境と生物に関する 室内セミナー等	8月30日(土) (13:00~17:00)	世田谷区 駒沢	25人	小学生・幼児, 保護者 (44人, 32人)	122
	「子ども環境カレッジ」 水辺公園緑地の自然観 察会	11月8日(土) (9:00~12:00)	大阪市住之江 区南港野鳥園	11人	小学生・幼児, 保護者 (11人, 16人)	32
	環境保全に関する 講演会、 セミナー、 シンポジウム等	4月22日(火) 5月26日(月) 6月23日(月) 7月28日(月) 9月22日(月) 10月7日(火) 10月27日(月) 11月10日(月) 12月1日(月) (原則 17:00~ 18:30)	4,5,7,10,12月 世田谷区 駒沢  5,9月 大阪市  10月 仙台市  11月 焼津市	5人 /1回	一般市民 (※事務局・社員・外部の総数) 161人 203人 178人 135人 146人 160人 185人 114人 134人	881
	身近な自然の観察会 実施支援	4月29日	横浜市都筑区	1人	すみれが丘小学校 父兄・児童(30人)	0
環境保全に 関する普及 啓発事業	ホームページの運営	4月~3月	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (不特定多数)	25
	活動報告書の作成	10月発刊	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (発行部数 1,700)	414
	防災・減災学習教材の 制作・販売	7月~3月	世田谷区 駒沢	2人	一般市民 (不特定多数)	5
情報収集及 び情報提供 事業	「東日本大震災に伴う 水産業の復興に関する 協議会」(楽水会)の運 営協力	7月,2月	世田谷区	3人	社団法人楽水会会 員及び岩手県・宮城 県・福島県・茨城県 沿岸漁業従事者(60 人)	0
	ジュゴンのモニタリン グに関する技術開発	9月,3月	世田谷区	6人	ジュゴン生態研究 者	656
	「神奈川県河川のモニ タリング調査」へのサ ーバー提供	4月~3月	世田谷区 駒沢	2人	主に神奈川県民 (50人)	0
環境マネジ メントシス テム構築・ 維持支援事 業	化学物質のリスクアセ スメント	4月~3月	千代田区 霞が関	1人	全国一般市民 (不特定多数)	8,781

### (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 人数	受益対象者の範囲 および予定人数	支出 (千円)
	実施せず					

## NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 26 年度開催事業一覧

日 時	事 業	備 考
4 月 22 日(火)  29 日(祝)	●第 126 回（平成 26 年度第 1 回）定例講演会 『自動車の環境・エネルギー技術に関する将来展望』  ◎身近な自然観察会支援（横浜市都筑区）	大聖 泰弘先生 （早稲田大学理工学術院 大学院環 境・エネルギー研究科 教授）
5 月 19 日(月)  26 日(月)	※平成 26 年度（第 11 回）通常総会  ●第 127 回（平成 26 年度第 2 回）定例講演会 『海洋における生態系調査の考え方について』	古川 恵太先生 （横浜国立統合的海洋教育・研究セン ター客員教授／海洋政策研究財団海洋 グループ主任研究員）
6 月 23 日(月)	●第 128 回（平成 26 年度第 3 回）定例講演会 『土壌地下水汚染対策の展望と課題』	平田 健正先生 （和歌山大学理事・副学長）
7 月 16 日(水)  28 日(月)	△運営協力：「東日本大震災に伴う水産業の復興に関 する協議会」  ●第 129 回（平成 26 年度第 4 回）定例講演会 『内分泌かく乱物質の生態影響解明の取り組みにつ いて』	一般社団法人楽水会に協力  井口 泰泉先生 （自然科学研究機構・基礎生物学研究 所・岡崎統合バイオサイエンスセンタ ー 教授）
8 月 30 日(土)	○子ども環境カレッジ 「夏休み☆環境＋生きもの体験」	GEC ホール 76 名参加（小人 44, 大人 32）
9 月 22 日(月)  24 日(水)	●第 130 回（平成 26 年度第 5 回）定例講演会 『都市における水辺の生態系再生－大阪の海と川の エコロジー－』  △第 1 回ジュゴン保護対策委員会（那覇市）	矢持 進先生 （大阪市立大学教授）  ジュゴン研究会
10 月 7 日(火)  27 日(月)	●第 131 回（平成 26 年度第 6 回）定例講演会 『ビッグデータがせまる社会の本格的な知能化』  ●第 132 回（平成 26 年度第 7 回）定例講演会 『ビッグデータがせまる社会の本格的な知能化』	樋口 知之先生 （情報・システム研究機構理事/統計数 理研究所所長） 占部 城太郎先生 （東北大学大学院生命科学研究科 教 授）
11 月 8 日(土)  10 日(月)	○子ども環境カレッジ 「身近な生きもの探検隊 in 南港野鳥園」  ●第 133 回（平成 26 年度第 8 回）定例講演会 『環境科学と分光分析の歴史と将来』	大阪南港野鳥園 27 名参加（小人 11, 大人 16）  不破 敬一郎先生 （東京大学名誉教授／環境放射能除染 学会会長）
12 月 1 日(月)	●第 134 回（平成 26 年度第 9 回）定例講演会 『事業者によるバリューチェーン管理と生物多様 性・生態系サービスの保全』	松本 郁子先生 （公益財団法人地球環境戦略研究機関 自然資源・生態系サービス領域 研究 員）

○環境学習・教育事業（子ども環境カレッジ）

2月 19日(木)	△運営協力：「東日本大震災に伴う水産業の復興に関する協議会」	一般社団法人楽水会に協力
3月 18日(水)	△第2回ジュゴン保護対策委員会（京都市）	ジュゴン研究会

●環境学習・教育事業（環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等）

◎環境学習・教育事業（身近な自然観察会支援）

◇環境保全に関する普及啓発事業

△情報収集及び情報提供事業

